

第3次 泉大津市地域福祉活動計画

小地域ネットワーク?

包括ケア会議?

活動拠点づくり?

CSW?



泉大津市社会福祉協議会

第4次 泉大津市地域福祉計画

地域福祉って
なんだろう?

地域のつながり?
ネットワーク?

まちづくり?

安全?安心?



泉大津市



～計画の概要～

計画期間

平成 30 (2018) 年 4 月～平成 36 (2024) 年 3 月【6 年間】

地域福祉計画と地域福祉活動計画の関係

両計画は、地域の生活課題や社会資源の状況などを把握し、ともに「地域福祉の推進」を目的としてそれぞれの役割にもとづき、相互に連携しながら地域福祉を進展させていくものです。

そのため本計画では、行政計画である地域福祉計画と行動計画である地域福祉活動計画を一体的に策定しました。

計画策定の趣旨

さまざまな人々によるつながりと支え合いの強化、市民・地域・行政などの協働による取組など、同じ理念や方向性のもと市と社会福祉協議会が一体となって地域福祉を推進するため、計画を策定しました。

第 4 次 泉大津市 地域福祉計画・
第 3 次 泉大津市 地域福祉活動計画

基本理念

8 万人の家族の絆

～ ぬくもりの 手と手をつなぎ 共に支えあえる社会 ～

- 基本目標 1 福祉の意識づくり、ひとづくり
- 基本目標 2 地域のつながりづくり、ネットワークづくり
- 基本目標 3 福祉サービスにつながるまちづくり
- 基本目標 4 安全・安心のまちづくり

地域福祉を推進するため地域の皆さまとともに、市の計画と社会福祉協議会の計画を一体的に作成しました

市の役割

地域の福祉活動に対する市民、団体、ボランティア、民間事業者、社協、専門職などから知識や経験を集約し、地域福祉を推進するための計画を策定するとともに、計画の取組が継続されるよう、相互の連携協力はもとより行政自らも連携を図り、各取組が円滑に進められるよう支援を行います。

社会福祉協議会（社協）の役割

地域福祉の総合コーディネーターとして、地域の身近な生活課題に取り組み、市民とともに地区計画を推進します。また、これまでの知識や経験を活かして、市民やボランティア、各団体それぞれが役割を担い、力が発揮できる仕組みづくりを進めます。

地域の役割

あいさつなどを通して、困っている時に相談できる関係づくりを進め、地域で抱える問題を自らの問題として受け止めるとともに、地域福祉を支える担い手としての活躍が期待されます。

市民に身近な組織としての関係団体や NPO・ボランティアや、地域における重要な社会資源となる民間事業者においては、地域に貢献・協力していくことが求められます。

地域福祉の総合コーディネーター 社会福祉協議会

福祉サービスにつながるまちづくり

【社協サービスの充実と提供】

- ・ステップアップスクール社協(介護予防活動)
- ・ファミリー・サポート・センター(子育て支援)
- ・法人後見(権利擁護)事業など

【地域包括ケアシステムの構築】

専門機関と連携し、総合的に支援できる体制づくりに取組みます。
・福祉なんでも相談・市民生活応援窓口・心配ごと相談など

福祉の意識づくり、ひとづくり

【福祉教育の推進・ボランティア活動の充実】

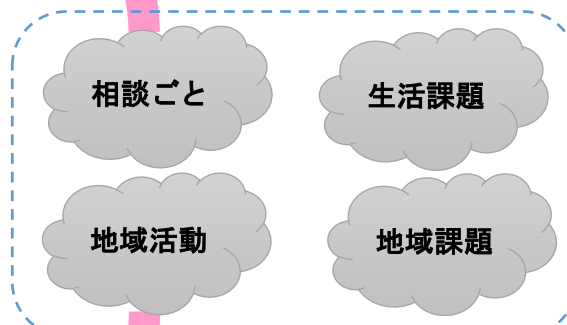
活動のきっかけづくりに取組みます。

- ・各種ボランティア養成講座
- ・ボランティア体験学習会
- ・ボランティアサロンなど



地域包括支援センター
CSW

CoW
CSW
生活支援コーディネーター



ボランティアセンター

安全・安心のまちづくり

- 【普段の活動をとおして、防災・防犯体制の強化支援】
- ・防災や防犯の学習会の実施など

地域のつながりづくり、ネットワークづくり

【小地域ネットワーク活動の充実】

地区福祉委員会を中心に、いきいきサロン活動・見守り訪問・子育て支援などの活動を行っています。

【小地域ネットワーク活動地区推進会の運営と立上げ支援】

地域ごとで意見や情報を交換できる拠点・仕組みづくりを進めます。

地区福祉活動計画

具体的に

地域の生活課題や福祉課題について、4 団体(自治会、民生委員、福祉委員、老人クラブ)を中心とした各関係団体と、地域の状況や活動に応じた方策を検討し、これからの目指すべき方向をたてました。

- ・小地域ネットワーク活動
- ・お買い物便
- ・ふれあい風街など